保護者・地域のみなさまへ！【黒田庄中学校学校長通信】

With 友愛

2026.10 №4

令和8年度 教育理念「学校教育目標」 感じる・つながる・創りだす



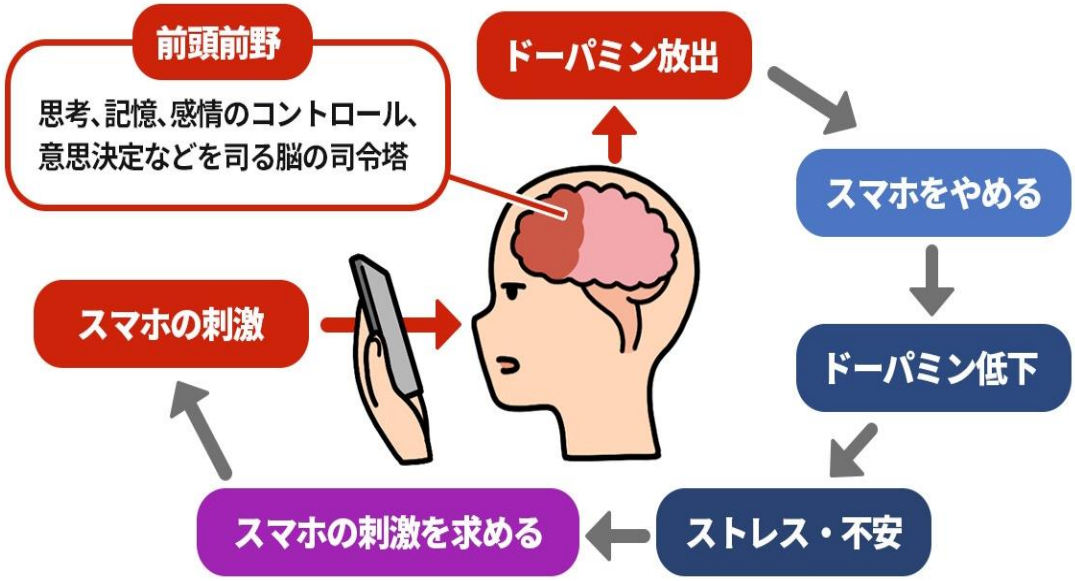
「脳」と「SNS」



「ショート動画」をダラダラ見ていて、気づけば１時間経っていた！
これは中学生だけのことではなく、すべての世代についてあることではないでしょうか？

「スマホを子どもに持たせるのはどうか？」と議論していた時代から、「犯罪に巻き込まれないように」というフェーズを経て、今は世界各国で「脳」への影響レベルで危惧されており、「認知症」に似た症状が出ているとの報告もあるようです。

子どもの脳の発達とスマホ（SNS）の関係がクローズアップされています



情報過多によりワーキングメモリが常に満杯→注意力や認知機能、
セルフコントロール（抑制制御）が低下

ドーパミン

脳内で「意欲・運動制御・学習」などを担う神経伝達物質で、一般に“快楽物質”と呼ばれるもの

（裏面につづく）



【ベルリン共同】ドイツのメルツ政権は14日、13歳未満の子どもの交流サイト（SNS）の利用を原則禁止することを柱とした政策方針を閣議決定した。児童に適していることが証明されたサービスは例外とし、13歳から18歳未満は段階的な利用制限の対象とする。

欧州連合（EU）欧州委員会は9月、子どもをデジタル空間で保護するため「EUキッズ法案」を発表した。メルツ政権は今回の政策方針により、同法が成立して欧州レベルで最低年齢が設定されるまでの暫定措置を定める狙いがある。

政策方針は、デジタル空間における青少年の保護に関する専門家委員会の提言を基にまとめられた。

政府が2027年からデジタル身分証明アプリを提供し、信頼性の高い年齢確認手段を確保する予定だとしている。

さらに、子どもや青少年が人工知能（AI）のアプリを認識し、その利点とリスクを適切に評価して活用できるようにする必要があると指摘。AIの基礎知識を習得してもらうため、小学生向けの教育プログラムを立ち上げるとした。

プリーン教育相は声明で「子どもや青少年がデジタル世界において安全かつ自主的に成長できる基盤を築く」とした。

独、13歳未満SNS禁止

スマホや SNS 環境が悪い訳ではありません。「健全な脳の発達」や「依存」を防ぐことを正しく捉え、セルフコントロールできる力が求められるのではないでしょうか。



上記の内容は、10/26 日の全校集会で生徒に話した内容です。
スマホやゲーム、SNS や AI の無い世界に戻ることは無いでしょう。しかし「脳の影響」を含め、世界各国がこれらの警鐘を鳴らしているのはなぜ・・・？

現実的に本校では、生徒に対し以下の項目について危惧や重要性を感じています。

- **「家庭学習習慣」の減少**
- **「正しい情報」に対する判断力　→SNS 書き込みによるトラブル**
- **「リアル」なコミュニケーションの重要性**

デジタル社会、AI やアンドロイドと共存していかなければならない私たち人間は、
「人間」でしか感じられないこと、「人間」からでしか感じとれないもの
「人間」で構成する「学校」でしか学べない「価値」「家庭」でしか育めないもの

このような事がらも併せて考えていきたいものです。



【黒田庄中学校　校訓】
健やかで うるわしく
和やかでよく働く
自力でなしとげる



合唱コンクール クラス練習より